学校だより
天　王　丘

令和５年２月28日(火)
第　３６　号
観音寺市立柞田小学校
発　行

長子配付

昔の人ってすごい！　～３年生が「ふるさと学芸館」へ～

十五日（水）～十七日（金）にかけて、三年生が大野原町にある「ふるさと学芸館」で体験活動を行いました。

社会科で既に学習している『くらしのうつりかわり』ですが、子どもたちにとっては教科書を読んだり、お話を聞いたりする活動に留まり、どうしても具体的なイメージが持ちにくいものです。でも、この「ふるさと学芸館」では、実際に昔の道具を使った体験活動ができます。お米の収穫の際に使う「唐箕（とうみ）」を見て脱穀の様子を見たり、かまどで炊き上がるごはんの様子を見て食べたりすることで、昔の人々の家事の様子を具体的に体験することができていました。また、「洗濯板」を使ってハンカチを洗ったり、「石臼」で大豆をきな粉にしたりする体験にも興味津々で取り組む様子が見られました。館内には、昔懐かしい「黒電話」や「足踏みミシン」「あんどん」を使った部屋等も用意されていて、その一つ一つに触れながら、先人の知恵と工夫を感じている様子でした。

統合で閉校になった紀伊小学校を活用して作られている「ふるさと学芸館」。県下でも有数の施設ですが、館内はノスタルジックな雰囲気に包まれていて、どこか不思議な気持ちに誘われます。入場無料で土・日も午前九時から午後五時まで開館していますので、興味のある方は、ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。

今年度の「天王丘」について、ご意見をお聞かせください

ここまで３６号を発行し、学校の様子をお知らせしてきた「天王丘」。今年度より、ホームページで閲覧できるようにする等、様々な改善に取り組んできましたが、ここで一度、保護者のみなさまのご意見を伺い、次年度に向けてよりよいものになるよう努めていきたいと思います。

つきましては、以下の内容でアンケートを実施したいと考えています。

①「天王丘」をどのくらい読んでいますか。

□ 毎号読んでいる　□ 時々読んでいる　□ あまり読んでいない　□ 全く読んでいない

②「天王丘」の発行回数（現在：おおむね週１回、年間40号発行）について

□ 現状で良い　□ 増やして欲しい(週２回)　□ 減らしてよい(隔週)　□ かなり減らしてよい(月１回)

③「天王丘」を学校のホームページで見たことがありますか。

□ 見たことがある　□ 見たことがない　□ ホームページで閲覧できることを知らない。

④「天王丘」の発行形態（現在：紙媒体で発行、ホームページでも閲覧可能）について

□ 現状（紙＋ホームページ）　□ メールでの配信（別途通信料がかかります）

□ ホームページのみ

⑤「天王丘」の配付対象について

□ 現状でよい（長子のみ）　□ 次子も含めて配布して欲しい　□ 紙媒体の配付は不要（ホームページのみで良い）

その他、「天王丘」に対してご意見ご要望がありましたら、自由にお書きください。

※ 自由記述

明日（３月１日）、ミッタメールで配信しますので、３月１０日(金)までにご回答をお願いします。